
可燃ごみ広域処理施設
整備・運営事業
審査講評

令和3年12月

可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業者選定委員会

目 次

1	事業概要	1
	(1) 事業名称	1
	(2) 公共施設等の概要	1
	(3) 事業期間	1
	(4) 事業方式	1
	(5) 契約の形態	2
	(6) 事業範囲	2
2	審査方法等	3
	(1) 入札の方法	3
	(2) 落札者決定までの経過	3
	(3) 選定委員会の設置	4
	(4) 選定委員会の開催経過	4
	(5) 落札者決定の手順	5
	(6) 審査手順	6
3	最優秀提案者の選定結果	9
	(1) 参加資格確認	9
	(2) 提案書の基礎審査	9
	(3) 非価格要素の定量化審査及び提案書に関するヒアリング	9
	(4) 入札価格の定量化審査	12
	(5) 総合評価点の算出	13
	(6) 最優秀提案者の選定	13
4	総評	14

1 事業概要

(1) 事業名称

可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業

(2) 公共施設等の概要

ア 名称

可燃ごみ広域処理施設

イ 建設予定地

京都府京田辺市田辺ボケ谷、甘南備台二丁目地内

ウ 事業用地面積

約 35,600 m²

エ 施設の概要

エネルギー回収型廃棄物処理施設

概 要	
処理方式	ストーカ式（全連続焼却方式）
処理能力	168 t /24 h（168 t /24 h × 1 炉）
処理対象物	可燃ごみ、粗大ごみ選別可燃物

(3) 事業期間

ア 事業期間

事業契約締結日の翌日から令和 28 年 3 月 31 日まで

イ 設計・施工期間

事業契約締結日の翌日から令和 8 年 3 月 30 日まで

ウ 運営期間

令和 8 年 3 月 31 日から令和 28 年 3 月 31 日まで

エ 運営準備期間

事業契約締結日の翌日から令和 8 年 3 月 30 日まで

(4) 事業方式

可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業（以下「本事業」という。）は、可燃ごみ広域処理施設（以下「本施設」という。）の設計・施工及び運営に係る業務を事業者が一括して行う DBO（Design：設計、Build：施工、Operate：運営）方式により実施する。

枚方京田辺環境施設組合（以下「組合」という。）は本施設の設計・施工及び運営に係る資金を調達し、本施設を所有する。

落札者の構成員、協力企業及び特別目的会社（運営事業者）は、本組合の所有となる本施設の設計・施工業務及び運営業務に係る本事業を一括して行うものとする。

また、組合は本施設を 30 年間程度に渡って使用する予定であり、事業者は 30 年間程度の使用を前提として本事業を実施することとする。

なお、本施設の設計・施工業務については、循環型社会形成推進交付金の対象事業（エネルギー回収型廃棄物処理施設（交付率 1/2））として実施する予定である。

（５）契約の形態

組合は、本事業開始のための基本的事項に関し、基本協定を落札者と締結する。

組合は、基本協定に基づき、本事業の設計・施工業務及び運営業務を一括で行わせるため、基本契約を事業者と締結する。

また、組合は、基本契約に基づき、事業者のうち建設事業者と建設工事請負契約を、運営事業者と運営業務委託契約を締結する。

（６）事業範囲

事業者が行う本事業の業務は次のとおりである。

ア 設計・施工業務

イ 運営業務

- ① 受付管理業務
- ② 運転管理業務
- ③ 用役管理業務
- ④ 維持管理業務
- ⑤ 余熱利用管理業務
- ⑥ 搬出管理業務
- ⑦ 情報管理業務
- ⑧ その他関連業務

2 審査方法等

(1) 入札の方法

入札の方法は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2に規定する、総合評価一般競争入札方式により実施した。

(2) 落札者決定までの経過

落札者決定の経過は表1のとおりである。

表1 落札者決定の経過

日 時	内 容
令和3年4月9日（金）	入札公告（入札説明書等の公表）
令和3年4月19日（月） ～4月23日（金）	現地見学
令和3年4月20日（火） ～5月7日（金）	入札説明書等に関する質問受付（第1回）
令和3年5月21日（金）	入札説明書等に関する質問回答（第1回）の公表
令和3年6月7日（月） ～6月11日（金）	参加表明書及び参加資格確認申請書類の受付
令和3年6月18日（金）	参加資格確認結果の通知
令和3年7月5日（月） ～7月9日（金）	対面的対話確認事項及び入札説明書等に関する質問（第2回）の受付
令和3年7月26日（月）	対面的対話の実施
令和3年8月13日（金）	対面的対話結果及び入札説明書等に関する質問回答（第2回）の公表
令和3年9月16日（木）	入札提案書類の提出日
令和3年10月11日（月）	基礎審査結果の通知
令和3年11月17日（水）	提案書に関するヒアリング 開札
令和3年11月24日（水）	最優秀提案者の公表
令和3年12月中旬	審査講評の公表 落札者の決定

(3) 選定委員会の設置

審査は、公平性及び透明性を確保し専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者を含む7名の委員により構成される枚方京田辺環境施設組合可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において行った。

[委員の構成]

委員長	高岡 昌輝	(京都大学大学院工学研究科教授)
副委員長	濱田 雅巳	(公益社団法人全国都市清掃会議技術部長)
委員	小幡 寛子	(公認会計士・税理士)
委員	小谷 真理	(同志社大学政策学部准教授)
委員	大倉 伸之	(枚方市環境部長) [平成31年3月31日まで]
委員	川南 裕	(枚方市環境部長) [平成31年4月1日から]
委員	吉岡 均	(京田辺市経済環境部長) [平成30年3月31日まで]
委員	森田 政利	(京田辺市経済環境部長) [平成30年4月1日から]
委員	藤本 伸一	(枚方京田辺環境施設組合事務局長) [令和2年3月31日まで]
委員	高橋 利之	(枚方京田辺環境施設組合事務局長) [令和2年4月1日から]

(4) 選定委員会の開催経過

本事業における選定委員会の開催経過は、表2のとおりである。

表2 選定委員会の開催経過

日付	回数	内容
平成30年3月12日(月)	第1回	(1) 諮問 (2) 事業計画の背景と概要の確認 (3) 本委員会での検討内容とスケジュール確認
令和2年6月3日(水)	第2回	(1) 見積図書の徴収に関する確認 (2) 事業者の審査項目の協議 (3) 実施方針(素案)の確認
令和2年10月27日(火)	第3回	(1) 実施方針(案)の確認 (2) 落札者決定基準等の協議
令和3年3月2日(火)	第4回	(1) 実施方針に関する質問回答等の確認 (2) 入札書類一式の協議
令和3年7月26日(月)	第5回	(1) 経過確認 (2) 対面的対話(オブザーバー参加)
令和3年10月22日(金)	第6回	(1) 提案内容の確認とヒアリング項目の協議
令和3年11月17日(水)	第7回	(1) 提案書に関するヒアリング (2) 最優秀提案者決定
令和3年12月7日(火)	第8回	(1) 審査講評の協議 (2) 答申

(5) 落札者決定の手順

落札者決定の手順については、図1のとおりである

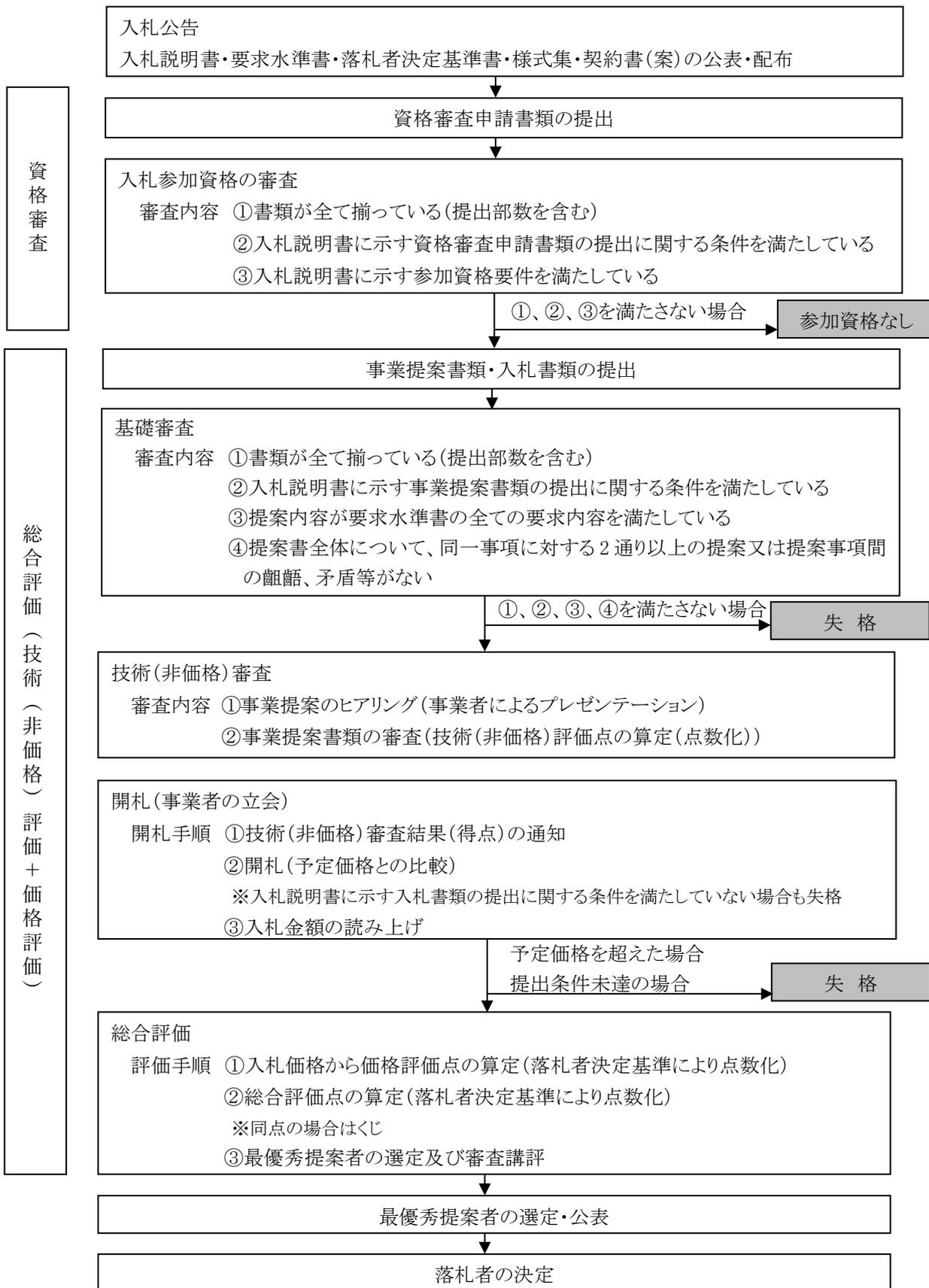


図1 落札者決定の手順

(6) 審査手順

ア 参加資格確認

参加資格確認は、参加資格確認申請書類の提出書類により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件を満たしていることを組合において確認した。

イ 提案審査

(ア) 提案書の基礎審査

選定委員会は、提案書（技術提案書、施設計画図書、添付資料）に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認した。基礎審査項目は、表3のとおりである。

表3 基礎審査項目

確認項目	内 容
入札書類の確認	・ 書類が全て揃っている（提出部数を含む）こと。
提案書の基礎審査	・ 入札説明書に示す事業提案書類の提出に関する条件を満たしていること。 ・ 提案内容が要求水準書の全ての要求内容を満たしていること。 ・ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

(イ) 非価格要素の定量化審査

a 審査項目及び配点

選定委員会は、表4に示す審査項目及び配点に基づき、提案書に記載された内容について、評価を行った。

なお、非価格要素に関する事項の配点は、60点とした。

b 非価格要素点の算定方法

提案を求めている審査項目においては、表5に示す5段階評価により評価、点数化を行い、各審査項目の得点を合計して、非価格要素点を算定した。

また、選定委員会では、提案書に関するヒアリングを実施し、提案内容の確認等を行ったうえで評価した。

表4 審査項目及び配点

大項目	中項目	小項目	配点		
施設の整備・運営における基本方針の実現	環境保全性	公害防止基準の確実な遵守	・排ガスの基準値（上乘せ基準値等）の設定と遵守方法	4	7
		環境保全対策	・騒音、振動、悪臭対策（設計・施工時及び運営時） ・猛禽類対策 ・施工中の濁水対策	3	
	資源循環性	エネルギー・資源の有効活用等	・ごみ処理に伴うエネルギー回収率、年間売電量 ・資源回収（最終処分量削減）	5	12
		環境負荷の低減	・地球温暖化対策 ・雨水利用量と具体策 ・プラント排水の下水道放流量と削減策 ・建設時に発生する建設廃棄物量と削減策	3	
		環境学習計画	・教育設備の設置内容と更新計画 ・環境学習の支援メニュー	4	
	安定稼働性	施設性能	・ごみ焼却システムの技術的特徴 ・ごみ処理の性能曲線とごみ量、ごみ質変動への対応	4	12
		安定稼働の実現	・主要設備のメンテナンス方法 ・1炉1系列の施設でのごみ処理停止回避の実現策	3	
		長寿命の実現	・長寿命の実現（主要設備の耐用年数と修繕計画等） ・次期事業者への引継ぎ計画	2	
		搬入管理計画	・受入困難物の搬入防止策 ・受入困難物が搬入された場合の対処方法	3	
	災害対策	災害に強い施設整備	・地震・台風・火事・落雷対策と設計反映	3	6
災害復旧支援		・本施設の復旧計画 ・災害発生時の協力内容 ・災害廃棄物受け入れ提案	3		
事業計画	安全確保	・施工時の品質管理・安全管理 ・運営時の安全確保	3	21	
	デザイン計画	・意匠・デザイン計画 ・空間・緑化計画 ・保持計画や修繕計画	3		
	配置・動線計画	・安全配置・動線計画	4		
	実施体制	・人員配置及び事業の実施体制（代表企業以下の役割と責任分担及び通常時並びに緊急時の連絡体制等） ・運転管理計画	4		
	事業収支計画	・安定収支計画（安定化の仕組み）	2		
	地域貢献	・地元企業の活用、資材調達への協力 ・地元雇用 ・地域への社会貢献	5		
その他		・その他独自提案	2	2	
合計				60	

表5 非価格要素に関する得点化方法

評価	説明	点数
A	特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	要求水準書を満たす程度である	配点×0

※1 各審査項目の評価点については、各委員が個別に行った評価の平均値とした。

※2 平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とした。

(ウ) 入札価格の定量化審査

入札価格の定量化審査においては、入札書に記載された入札価格が入札書比較価格を超えていないことを確認したのち、入札価格について、表6に示す得点算定式により得点化した。

なお、入札価格に関する事項の配点は40点とした。

表6 入札価格の得点算定式

入札価格の得点算定式
$\left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格評価点} \end{array} \right] = 40 \text{ 点} \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}}$

※1 得点は、小数第3位を四捨五入した値とした。

※2 定量化限度額は設定していない。

(エ) 総合評価点の算出

非価格要素の定量化審査、入札価格の定量化審査により算出した得点から、表7に示す算定式により、入札参加者の総合評価点を算出した。

表7 総合評価点の算出

総合評価値の算定式
$\left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価点} \\ (100 \text{ 点}) \end{array} \right] = \left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{技術 (非価格) 点} \\ (60 \text{ 点}) \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{価格点} \\ (40 \text{ 点}) \end{array} \right]$
<p>※ ()内は各得点の配点を示す。</p>

3 最優秀提案者の選定結果

(1) 参加資格確認

令和3年4月9日に入札公告を行い、令和3年6月7日～6月11日に参加資格確認申請書類を受け付けたところ、以下の3グループから申請があった。

組合は参加資格確認を行い、当該グループの入札参加資格を確認し、令和3年6月23日に代表企業に対して入札参加資格を有することを書面にて通知した。

なお、選定委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等すべての書類において参加グループの企業名は伏せ、表8の受付グループ名で識別して評価を行った。

表8 参加資格確認申請書類提出グループ

受付グループ名	つくしグループ	ぜんまいグループ	やまうどグループ
代表企業	荏原環境プラント株式会社 西日本支店	日立造船株式会社	川崎重工業株式会社 関西支社
構成員		Hitz 環境サービス株式会社 西日本支社 K・ネット株式会社	川重環境エンジニアリング株式会社
協力企業	株式会社熊谷組関西支店 安積建設株式会社 上島建設株式会社	東洋建設株式会社大阪本店 株式会社サンエース 株式会社野原工務店	誠信建設工業株式会社 京阪園芸株式会社 株式会社ツジモト 石井工業株式会社 西松建設株式会社西日本支社 株式会社梓設計関西支社 Daigas エナジー株式会社

(2) 提案書の基礎審査

令和3年9月16日までに入札参加資格を有する3グループより提案書が提出された。

3グループの提案書は、いずれも基礎審査項目を満たしていることが確認されたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

(3) 非価格要素の定量化審査及び提案書に関するヒアリング

令和3年9月16日までに提出された提案書について、約2ヶ月間にわたり、提案書に対する審査を行った。また、令和3年11月17日に選定委員会において提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び委員による提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施した。その結果を踏まえ、非価格要素の定量化審査を行った。

定量化審査の審査項目について、適確な提案がなされているかの審査を行い、非価格要素の定量化審査に関する得点化を行った。なお、評価は組合の要求する水準を満たしたうえで、より優れた提案に対して評価を行う加点方式である。

審査結果は表9、非価格要素の各審査項目についての講評は表10のとおりである。

表9 非価格要素の定量化審査結果

審査事項			No.	配点	つくし グループ	ぜんまい グループ	やまうど グループ
大項目	中項目	小項目					
1 施設の整備・運営における基本方針の実現			-	31	20.61	21.54	22.54
(1) 環境保全性							
①公害防止基準の確実な遵守			1	4	2.43	2.43	3.29
②環境保全対策			2	3	1.82	1.93	2.04
(2) 資源循環性							
①エネルギー・資源の有効活用等			3	5	3.04	4.29	3.39
②環境負荷の低減			4	3	1.93	2.14	2.14
③環境学習計画			5	4	3.00	2.43	2.71
(3) 安定稼働性							
①施設性能			6	4	3.00	2.71	3.29
②安定稼働の実現			7	3	2.25	2.25	2.14
③長寿命の実現			8	2	1.43	1.43	1.50
④搬入管理計画			9	3	1.71	1.93	2.04
2 災害対策			-	6	4.07	3.54	4.08
(1) 災害に強い施設整備			10	3	1.93	1.61	2.04
(2) 災害復旧支援			11	3	2.14	1.93	2.04
3 事業計画			-	21	12.50	13.50	14.44
(1) 安全確保			12	3	1.61	1.93	1.93
(2) デザイン計画			13	3	1.82	2.36	1.93
(3) 配置・動線計画			14	4	2.57	2.43	2.43
(4) 実施体制			15	4	2.00	2.14	2.29
(5) 事業収支計画			16	2	1.29	1.43	1.57
(6) 地域貢献			17	5	3.21	3.21	4.29
4 その他			-	2	1.43	1.14	1.36
(1) その他			18	2	1.43	1.14	1.36
非価格要素点				60	38.61	39.72	42.42

表 10 非価格要素に関する事項の講評

項目		講評	
技術（非価格）審査	環境保全性	公害防止基準の確実な遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて経験に基づく確実性の高い公害防止対策が提案されていた。 ・特にやまうどグループでは、より効果が期待できる排ガス監視及び制御方法が提案されている点を評価した。
		環境保全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて経験等に基づく騒音、振動、悪臭対策や濁水対策、猛禽類対策が提案されていた。
	資源循環性	エネルギー・資源の有効活用等	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて積極的な資源の有効活用が提案されていた。 ・特にぜんまいグループでは、最新技術を導入したエネルギーの有効活用による売電量の増大計画が提案されている点を評価した。
		環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて積極的な地球温暖化対策や雨水利用、下水道放流量削減等が提案されていた。
		環境学習計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて効果の期待できる環境学習計画が提案されていた。 ・特につくしグループでは、見学者に配慮した動線計画や更新を見据えた設備計画が提案されている点を評価した。
	安定稼働性	施設性能	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて豊富な実績に基づくごみ焼却技術が提案されていた。 ・特にやまうどグループではごみ量、ごみ質に応じた、より柔軟な対応が提案されている点を評価した。
		安定稼働の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて豊富な実績に基づくメンテナンス計画、ごみ処理停止回避策が提案されていた。
		長寿命の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて豊富な実績に基づく、長寿命化に向けた取組みやアフターサービス等が提案されていた。
		搬入管理計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて効果の期待できる受入困難物の搬入防止策が提案されていた。 ・特にやまうどグループでは、より充実した受入困難物の混入回避対策を反映した施設設計やソフト施策が提案されている点を評価した。
	災害対策	災害に強い施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて経験に基づく災害に対する取組みが提案されていた。 ・特にやまうどグループでは、詳細な解析に基づく具体的な対策が提案されている点を評価した。
		災害復旧支援	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて積極的な協力施策や災害廃棄物の受入支援が提案されていた。
	事業計画	安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて経験に基づく、施工時の安全管理や運営時の安全確保について具体的な対策が提案されていた。
		デザイン計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて周辺環境や地域特性を踏まえたデザイン計画が提案されていた。 ・特にぜんまいグループでは使用材料の工夫や長期にわたる美観維持計画が提案されている点を評価した。
		配置・動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ・全グループにおいて経験に基づく安全な配置・動線計画が提案されていた。

項目		講評	
技術 (非価格) 審査	事業計画	実施体制	・全グループにおいて期待できる人員配置、事業実施体制等が提案されていた。
		事業収支計画	・全グループにおいて経験に基づく安定的な事業収支計画が提案されていた。 ・特にやまうどグループでは、安定的な事業収支の確保に向けた手厚い支援計画が提案されている点を評価した。
		地域貢献	・全グループにおいて積極的な地元企業の活用、資材調達への協力、地元雇用、地域への社会貢献施策が提案されていた。 ・特にやまうどグループでは、地域への貢献度合いの高い取組みが提案されている点を評価した。
	その他	・全グループにおいて様々な効果が期待できる施策が提案されていた。 ・特につくしグループでは、新たな電力市場の活用による独自の取組みが提案されている点を評価した。	

(4) 入札価格の定量化審査

提案書を提出した入札参加者の立会いのもとで令和3年11月17日に開札を行い、各入札参加者の入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

選定委員会は、開札結果の報告を受け、入札価格の定量化審査に関する得点化を行った。得点化の結果は、表11のとおりである。

表11 入札価格の定量化審査結果

項目	配点	つくしグループ	ぜんまいグループ	やまうどグループ
入札価格(税抜)	—	23,000,000,000円	20,500,000,000円	24,835,400,000円
設計・施工業務に係る対価	—	14,494,000,000円	12,851,000,000円	16,103,100,000円
運營業務に係る対価	—	8,506,000,000円	7,649,000,000円	8,732,300,000円
価格要素点	40	35.65	40.00	33.02

(5) 総合評価点の算出

「非価格要素の定量化審査の得点」、「入札価格の定量化審査の得点」を加算して、表 12 のとおり総合評価点を算出した。

表 12 総合評価点の算出結果

項目	配点	つくしグループ	ぜんまいグループ	やまうどグループ
非価格要素点	60	38.61	39.72	42.42
価格要素点	40	35.65	40.00	33.02
総合評価点	100	74.26	79.72	75.44

(6) 最優秀提案者の選定

選定委員会は、上記の結果に基づき「ぜんまいグループ」（代表企業：日立造船株式会社）を最優秀提案者として選定した。

4 総評

本事業は、民間事業者の経営能力及び技術的能力を活用することにより、一般廃棄物処理施設である可燃ごみ広域処理施設（枚方市立穂谷川清掃工場第3プラント及び京田辺市環境衛生センター甘南備園焼却施設の後継施設となるエネルギー回収型廃棄物処理施設）の効率的かつ効果的な設計・施工及び運営・維持管理を行い、将来にわたり安全で安定したごみの適正処理、ごみからのエネルギー回収を進め、循環型社会を構築することを目的としている。

本事業では、本施設の設計・施工及び運営・維持管理を一括して発注するDBO（Design-Build-Operate）方式を採用しており、民間の創意工夫による提案を取り入れた良質な設計・施工業務と、効率的かつ効果的な運営業務を実施するものである。

このような背景を踏まえ、選定委員会では、基本理念及び施設整備・運営コンセプトに基づき、評価基準及び方法等を定め、最優秀提案者選定のための審査を実施した。

今回、入札に参加した3グループの提案は、いずれも本事業の特徴を的確に捉えたうえで、本事業の有する課題に対応するための様々な創意工夫がなされており、いずれも過去の経験に基づく魅力的な提案であり、非価格要素の定量化審査においては、評価項目（小項目）毎に最高評価点を取得したグループが異なる結果であった。

最優秀提案者として選定した日立造船株式会社を代表企業とするぜんまいグループは、組合の期待する創意工夫と事業の効率性を両立していると評価されたものであり、非価格要素の定量化審査においては、特に「エネルギー・資源の有効活用等」、「デザイン計画」が高く評価された。一方で、選定委員会の審議において、以下に示す要望事項が挙げられた。

- (1) 事業期間（事業引継ぎ、終了後も含む）にわたって、要求水準事項及び提案事項を確実に履行すること。特に提案書に関するヒアリングでの確認（懸念）事項や依頼事項については、設計段階で有効な対処方法を提案するなど、組合と誠意をもって協議すること。
- (2) 1炉構成である特性の中で、設備の重複化、強靱化など、施設の長期停止とならないような施設設計及び運営に努めること。
- (3) 災害時（地震／火災等を含む）においても、施設の長期停止とならず、継続してごみ処理を行うことが可能な施設となるよう、最新の情報の収集等に努め、より一層の対策に努めること。
- (4) 本施設の稼働データなどをぜんまいグループの経験を踏まえ解析し、計画反映することにより事業期間を通じて安定的に事業を行えるよう支援するとともに、データの取り扱いについては組合と十分に協議すること。
- (5) 今後の社会情勢の変化によるごみ量、ごみ質（特に低質ごみ）の変動や処理不適物等の混入に対し、柔軟な対応に努めること。
- (6) 事業期間を通じて、地元雇用と地元活用提案の実現、及び更なる拡大に努めること。
- (7) 周辺住民等との信頼関係の構築に向けて、誠意を持って情報提供等に努めること。

ぜんまいグループは、上記の要望事項等について、本事業をより良いものとするために組合と十分な協議を行い、真摯な対応に努めてもらいたい。

さらに、事業期間を通じて誠意をもって各業務を行い、組合と協働して地域との信頼関係を築きながら、本事業を円滑に推進することを期待する。

令和3年12月

可燃ごみ広域処理施設整備・運営事業者選定委員会
委員長 高岡 昌輝